



令和6年度 とくしま生徒まんなか探求活動推進事業成果発表会

# 徳島県立城西高等学校神山校



## 取組

## 「まめのくぼ」を中心とした取組

「まめのくぼ」とは、神山校の近くにある耕作放棄地の地名で、現在、私たちが有機農業の実践やシードバンク活動、石積み修復による景観整備など、人と環境に優しくSDGsにつながり、地域にとって「憩いの拠点」を目標に取り組んでいます。

地域振興・エシカル消費をテーマに課題研究や学校設定科目「神山創造学」で加工品開発を行いました。スタチや在来小麦（神山小麦）など地域資源を活用し、企業との連携により多くの商品が誕生！



広野・下分保育所の園児と一緒に「まめのくぼ」でサツマイモを栽培・収穫し交流を深めることができました。今年は、持ち帰ってもらいましたが、来年度は収穫したサツマイモでお菓子作りも検討中！

神農祭（学校祭）での活動報告と意見交換会を実施しました。移住者の方を始め、地域に昔から住む方にも取組に興味を持っていただくことができ、これからの「まめのくぼ」について意見交換をすることができました。

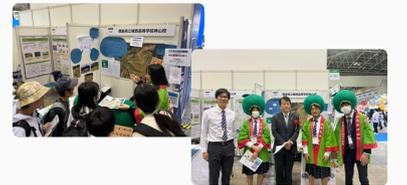


学校運営協議会では「まめのくぼ部会」を設置。地域の関係機関の方々や「まめのくぼ」での栽培作物や景観のあり方について協議し、学校と地域の連携の中での持続的な取組にしていくためにどうしていくべきか考えることができました。

## 発信①

## エコプロ2024への出展とオンライン交流会の実施

昨年12月4日から6日に東京ビッグサイトで開催された「エコプロ2024」に出展！「まめのくぼ」での活動について紹介しました。農林水産省副大臣を初め、これらの取組を約400人の方に聞いていただきました。また、取組を紹介するだけでなく、様々なブースを巡り、同じような取組を行う高校や大学の方と名刺を交換し、新たなつながりの形成にも力を入れました。



1月24日に東京農業大学 地域環境科学部 地域創成科学科デザイン学研究室とオンライン交流会を実施しました。エコプロ2024に出展した際に、東京農業大学の茂木もも子准教授と名刺交換を行い、今回の交流会を実施するに至りました。



交流会では、「まめのくぼ」での取組紹介の後、デザイン学研究室の学生から、神山町についての質問や「まめのくぼ」でのお祭りの開催などアイデアをいただき、見識を深める良い機会となりました。デザイン学研究室についても紹介いただき、大学について知り、進路選択の参考にすることができました。また、2月にはエコプロで繋がった学校法人自由学園（学校の農場で不耕起栽培の実証実験をされています。）と交流会を実施予定です。



## 発信②

## 神山校の販売活動

県内外の様々なイベントで販売を実施しました。商品は、徳島の企業や作業所と連携して開発したクッキーやレトルトカレー、神山校で栽培したスタチの果皮を使用したスタチこしょう、スタチソーセージ等です。



商品開発の過程でお世話になった地域の方や県内企業、製造を依頼した福祉施設など多くのステークホルダーと新たなネットワークを構築できました。また、商品を通して取組に興味を持ってくださったお客様ともつながりができ、これからの活動の幅が広がっています！

